

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	1072100314
法人名	特定非営利活動法人 かしわ
事業所名	グループホーム かしわ
所在地	群馬県高崎市 箕郷町柏木沢 586番地5 (電話) 027-371-5240

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど		
所在地	前橋市大友町2-29-5		
訪問調査日	平成19年6月12日	評価確定日	

【情報提供票より】(19年5月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)22年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤4人, 非常勤6人, 常勤換算3.8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	2階建ての 階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	37,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	円
	または1日当たり	900 円		

(4) 利用者の概要(5月20日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名	
要介護1	3名	要介護2	2名			
要介護3	4名	要介護4	名			
要介護5	名	要支援2	名			
年齢	平均	80歳	最低	60歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤医院(泰平)
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

移設、新築された立地環境は眺望が長閑で開放的である。家庭的でゆったりとしたダイニングには、BGMが心地よく流れている。昼食は入居者が農作等で作った野菜を入居者と全職員が味わいながら楽しみ、収穫した野菜の話題で賑わっている。入居者はキッチンで調理を手伝う。後片付けに参加したり、お茶を入れたり、ただにこにこしながら見ていたり等、人によって可能性は違うが、残存能力を引き出す方向で見守るケアである。理事長・管理者・職員は経験豊かな入居者から「学ぶ」姿勢があり、サービスは人間の尊厳や人格にかかわるものとして共通認識を持っている。これは「かしわ」の理念に基づく実践である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	1食事を楽しむことの支援 前回の評価:要改善 今回評価:入居者と全職員が一緒に食卓を囲み入居者は食事の準備、後片付け等の手伝いに参加、残存能力を引き出すケアに改善された。 2入居者一人ひとりの希望に合わせた入浴支援 前回評価:要改善 今回評価:楽しい入浴に向けた取り組みや工夫は評価できるが、回数、時間帯について入居者の希望に合わせる等、レベルアップを期待する。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目②	① 前回の外部評価の結果を基に自らのグループホームの特性を活かしながら自主的に現状分析して改善策に取り組んでいる姿勢は理解できるが、クリアされていない項目が課題として残されている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目③	グループホームのケアサービスの現状や実態を報告し、参加者から意見を求めその意見をケアサービスの向上に取り入れている。残念な事に参加者の発言は乏しい。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目④	家族等の来訪時を利用したり、投書箱を設置して意見、苦情、不安等を聞く努力をしている。家族等の意見は運営に反映している。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	移設、新築して間もない経緯があり、旧ホームでは、地域主催のどんどん焼きや盆踊りに参加していた。今後はなるべく早く自治会等に参加して地域の中に根をおろす努力をして欲しい。入居者が製作した雑巾をコミュニティーセンターへ寄贈して交流の機会を作りたいという意向があるが早急に実現して、入居者が自ら地域の役に立っているという実感を体験できるように期待したい。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ゆっくりと安らぎがあり、個人の尊厳を大切に…。という理念は理事長、管理者、職員が共通した認識のもと策定した。	<input type="radio"/>	既存の理念に加えて、地域と一体となって、なじみのケアに取り組む文言も追加してみたいかと期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は個別ケアをモットーに人間としての尊厳が守られるように日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	昨年移設、新築したという経緯がある。入居者の作成した雑巾をコミュニティーセンター等に持参して地域と交流を図りたい。旧ホームに於いては地域主催のどんど焼きや盆踊りに参加していた。	<input type="radio"/>	自治会等に参加して地域の中に根をおろす事を期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価はホーム内では気づかなかったサービスの指摘を受けたので、管理者は全職員に伝え、改善に向けて具体的に努力している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者やサービスの実態を報告し、参加者の意見を取り入れ、サービス向上に活かしている。	<input type="radio"/>	自己評価の内容を説明し、外部評価の結果を公表して参加者から意見を求め、回を重ねる毎に積み上げる事を期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	箕郷町主催の農業際には参加可能な入居者と一緒に行って豚汁等をご馳走になり、地域の農業大学校や榛東村農学祭にも参加した経験がある。	○	行政等にホームや認知証を理解していただくように市町村主催の研修に参加したり、ホームに来て頂くよう努力して欲しい。又、地域と共に生きる地域密着の催物等に参加、交流することを期待する。
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	事業所への家族の関心は薄いですが、来訪時には入居者の日常の暮らしの様子やエピソード等を伝え、来訪不可能な家族には電話等で近状を報告している。	○	スケジュールや生活の様子を紹介する「ホーム便り」を作成することによって、家族の関心が得られるよう期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	投書箱を設置して家族等の意見、不満、苦情を積極的に取り入れ、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。	○	家族に入居者の報告等をして家族が話し易いような雰囲気作りをして欲しい。家族会をつくることを期待する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動や離職は極力避け、やむ得ず代わる場合は、入居者にダメージを与えないような取り組みをしている。		
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が交替で、定期的にケアの向上をめざして、研究会に参加する機会を作っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	以前は箕郷町ラビットホームや駒井病院との連携で定期的に勉強を行っていた。現在はグループホーム連絡協議会の研修会に参加している。	○	同業者との研修会は、グループホーム同士で働くスタッフの声を聞く事によって、情報収集が可能であると同時に認知証の知識を深め、よい刺激になるので、継続を期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	生活暦等を家族から聞き、家族と相談しながら無理なく徐々になじめる配慮している。又、会話が通じる気の合いそうな入居者同士の席にも工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者を介護の対象とのみ捕らえるのではなく、職員は入居者の豊かな人生経験を学ぶ姿勢があり、入居所に寄り添いながらケアをする居心地の良い関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	発語が困難な為に自己主張が出来ない入居者に対して、職員は自分が同じ状態だったら、こうして欲しいと、常に一人称で考えて、行動や表情から一人ひとりの意向の把握に努力している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全職員でカンファレンスを行い家族等の意向を基に個別的な介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1度介護計画を見直し、状態に変化が生じた時点でモニタリングを行なっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	多機能性を生かした支援でショートステイを試みたことがあるが、環境の変化に馴染めず失敗した経験がある。	○	利用者にとって施設以外の環境は雰囲気が変わり新鮮な気持ちになるという利点もあるので1日2名位のデイサービスの再チャレンジを期待します。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	嘱託医による往診が行なわれているが本人や家族の希望も取り入れ、かかりつけ医を受信している入居者もいる。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事業所として、終末期についての具体的な検討はしていない。	○	家族、医療機関、訪問看護等の連携を密にして事業所としてターミナルケア体制について、家族の意向等を踏まえ、検討しておくことを期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の尊厳を守り、さりげない言葉かけや対応をしており、個別の性格に合わせた配慮をしている。個人情報を利用する場合は本人や家族の同意を得ている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	特性を生かしたた対応を心掛けており、職員が入居者の希望に合わせて支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けに参加する入居者と全職員と一緒に食卓を囲みゆったりとした家庭的な時間が流れている。お茶を入れている入居者は一見、職員と間違っただけのように見える。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	残存能力を生かして入居者が自ら洗える部分は見守り不可能な部分のみ手伝っている。仲良し同時の組み合わせに配慮して会話を楽しみながらリラックスした気分で入浴を楽しんでいる。	○	回数や時間帯を入居者の希望に合わせる配慮をしてよりレベルアップすることを期待する。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	1人ひとりの生活歴を生かして喜びのある日々が過ごせるように個別の役割、楽しみを支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望により散歩、畑仕事買物等の支援しており、商店等で地域住民との出会いを大切にしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	不安、閉塞感を考えて施錠はしていないが、早朝の草取りを楽しみにしている入居者の単独での作業は危険が伴う。夜勤者が配慮することは物理的に困難である。不安感を持ちながらも施錠はしていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に1回消防署から来て避難訓練を行っており、緊急連絡網は作成している。又、年に2回、火災報知機や消火器の点検を委託している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者が畑で収穫した新鮮な野菜等を取り入れ、栄養のバランスを考えて食事を行なっている。	○	食事記録に個人別チェック表を期待したい。現在の入居者には不必要でもターミナルケアになると必要になるので、今から習慣つけて欲しい。水分を好まない入居者には家族に好きな飲み物を聞いて補給する等の工夫を期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	色取り取りの花が飾られ、花の美しさや匂いを愛でる入居者が居心地良く過ごせるような環境づくりに工夫がなされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた道具や入居者の趣味のぬいぐるみ等が置かれ、居心地良く過ごせる配慮がなされている。ベットでなく、畳の上で就寝を希望する入居者もあり、生活スタイルに合わせた好みのままの工夫がされている。		